

池二管第 2 号
令和 5 年 4 月 17 日

参考見積募集要領

有資格業者 各位

独立行政法人水資源機構
池田総合管理所長 岩本 浩

次のとおり、池田ダム右岸法面調査解析業務（仮称）の参考見積を募集します。

令和 5 年 4 月 18 日

1. 目 的

この参考見積の募集は、池田総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛、資機材単価の見積を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、業務発注の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
- (2) 提出期間：令和5年4月27日（木） から令和5年5月11日（木） まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後4時まで
- (3) 提出先及び宛名

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所長 岩本 浩 宛

【担当】総務課 石川（イシカワ）、丸山（マルヤマ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050 F A X：0883-72-0727

メールアドレス：JWA_ikeda@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、F A Xまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（いずれも印影のあるものに限る）。

(5) 見積有効期限

令和6年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

参考見積書の様式は、別添資料－2のとおりとします。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

ダムサイト右岸法面の既設アンカーについて調査ボーリングによる岩盤状況の確認を行うとともに健全性調査による評価・解析を行うものである。

(2) 作業項目、作業内容及び作業数量

別添資料－1、別添資料－2のとおりとします。

(3) 業務の構成と参考見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接業務費のうち、上記（1）「作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

(5) 見積条件

見積価格は、消費税抜きとしてください。また、見積書に消費税を含んでいない旨を記載してください。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください

(1) 提出期間：令和5年4月18日（火） から令和5年4月21日（金） まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで

(2) 提出場所：3. （3）に同じ。

(3) 提出方法：3. （4）に同じ。

(4) 提出様式：様式は自由としますが、別添資料－3を参考に以下の事項を必ず記載してください。

・文書番号（池二管第2号）

- ・宛名（独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 岩本浩）
- ・提出者名（代表者又は代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・質問事項

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１）閲覧期間：令和５年４月２６日（水） から令和５年５月１１日（木） まで

（２）閲覧方法：池田総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。

池田総合管理所ホームページ（<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>）

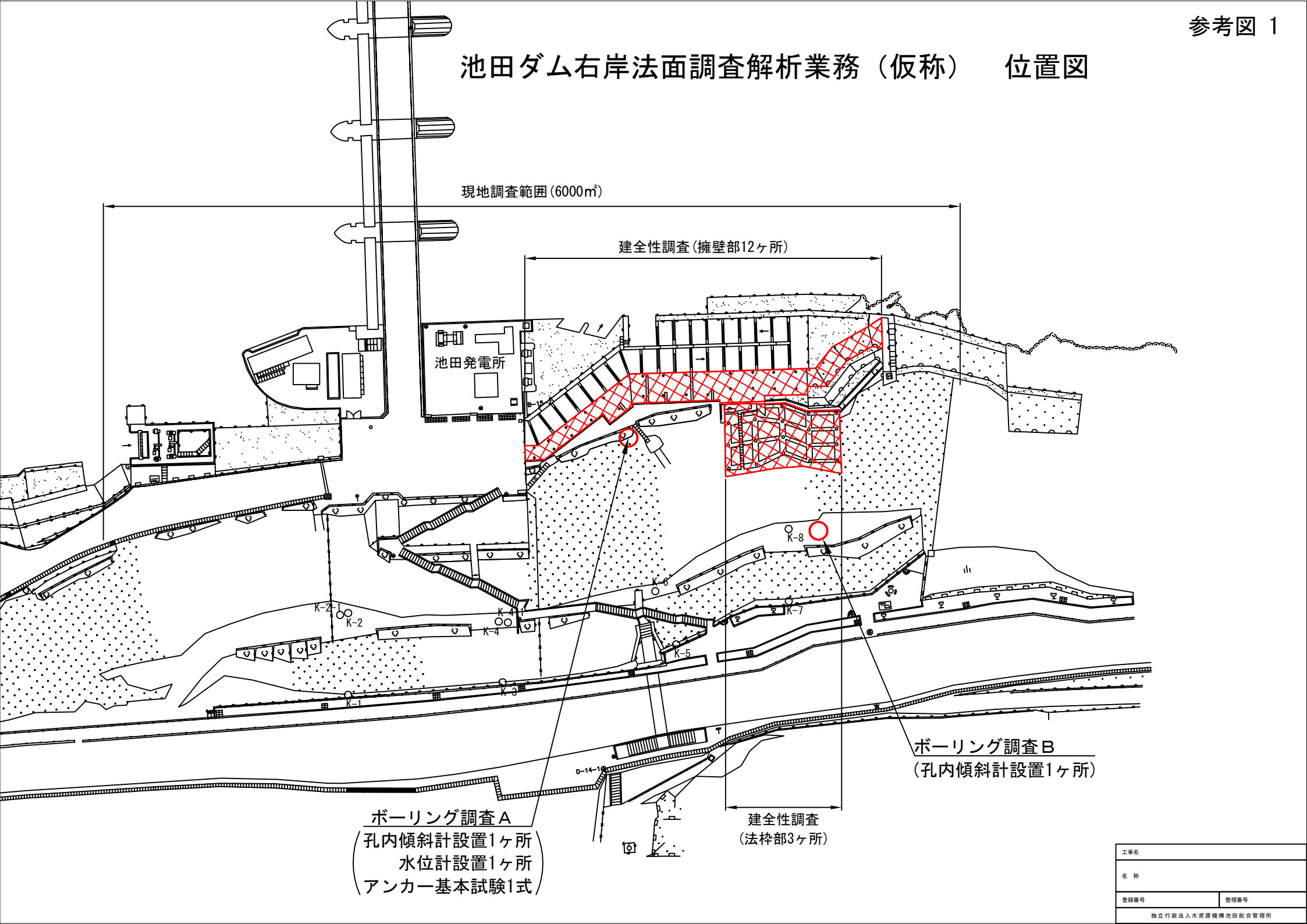
7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

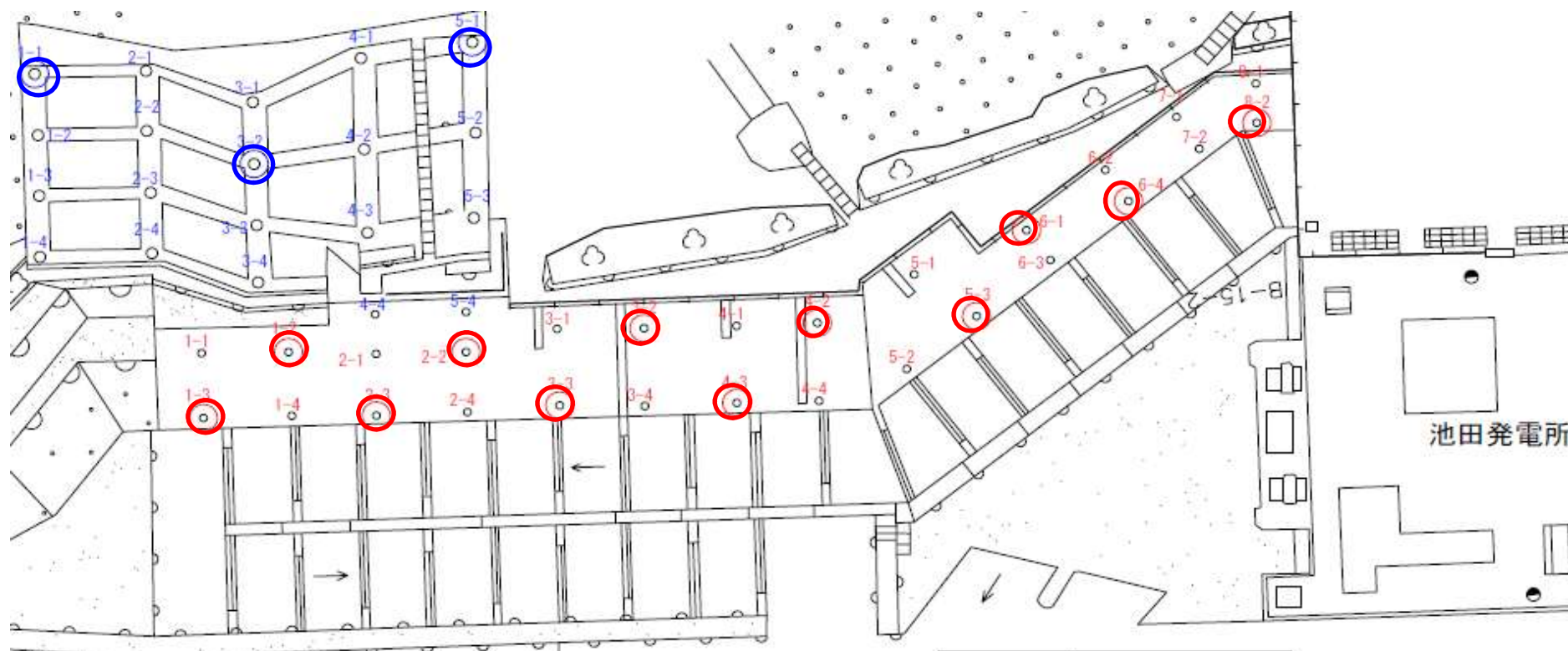
池田ダム右岸法面調査解析業務（仮称） 位置図



工事名	
名 称	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構池田総合管理所	

健全性調査位置図

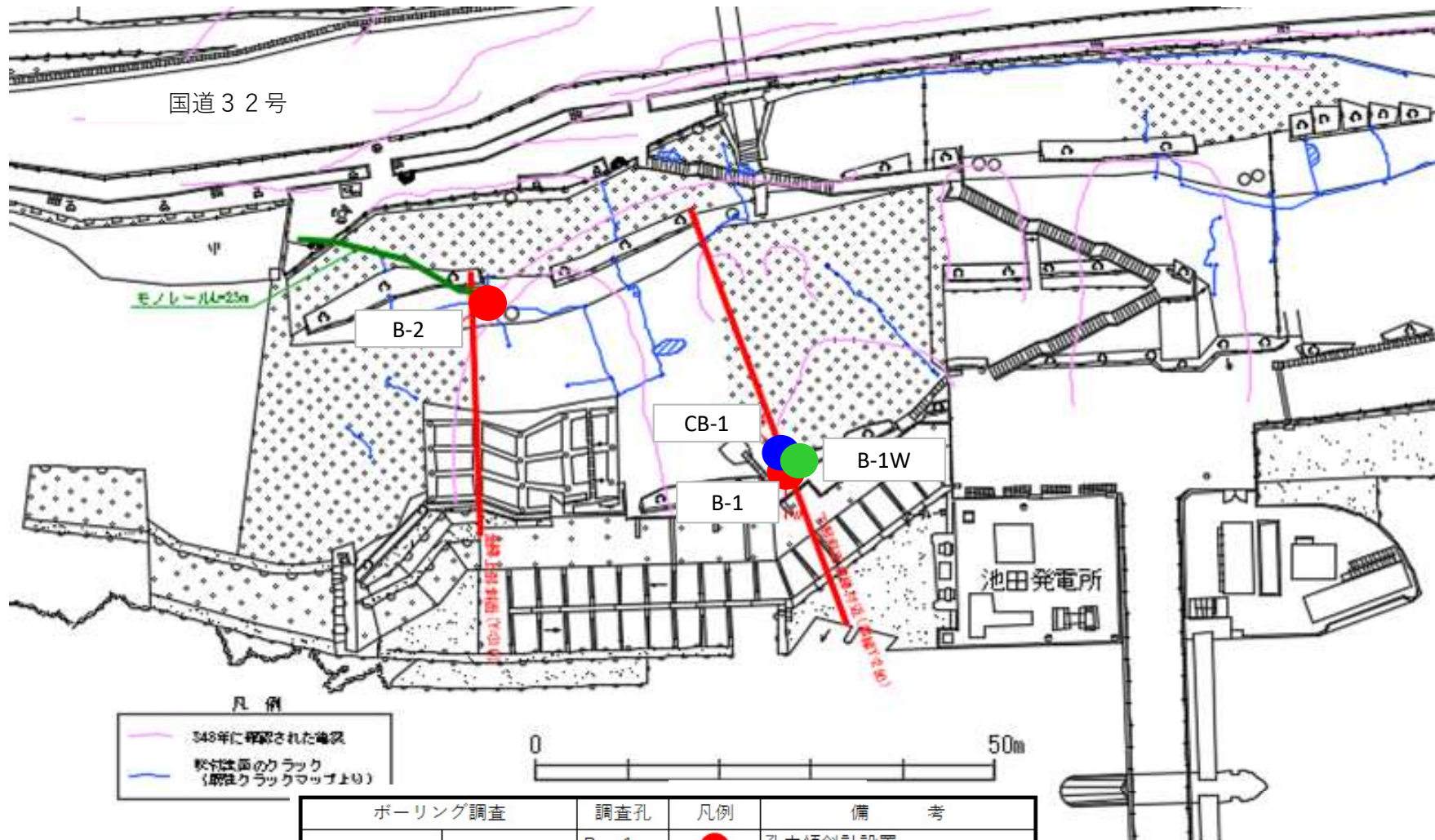
参考図 2



アンカー設置場所	見積対象	備 考
法枠部(3箇所)	○	健全性調査（リフトオフ試験、頭部 詳細調査、頭部背面調査）
擁壁部(12箇所)	○	

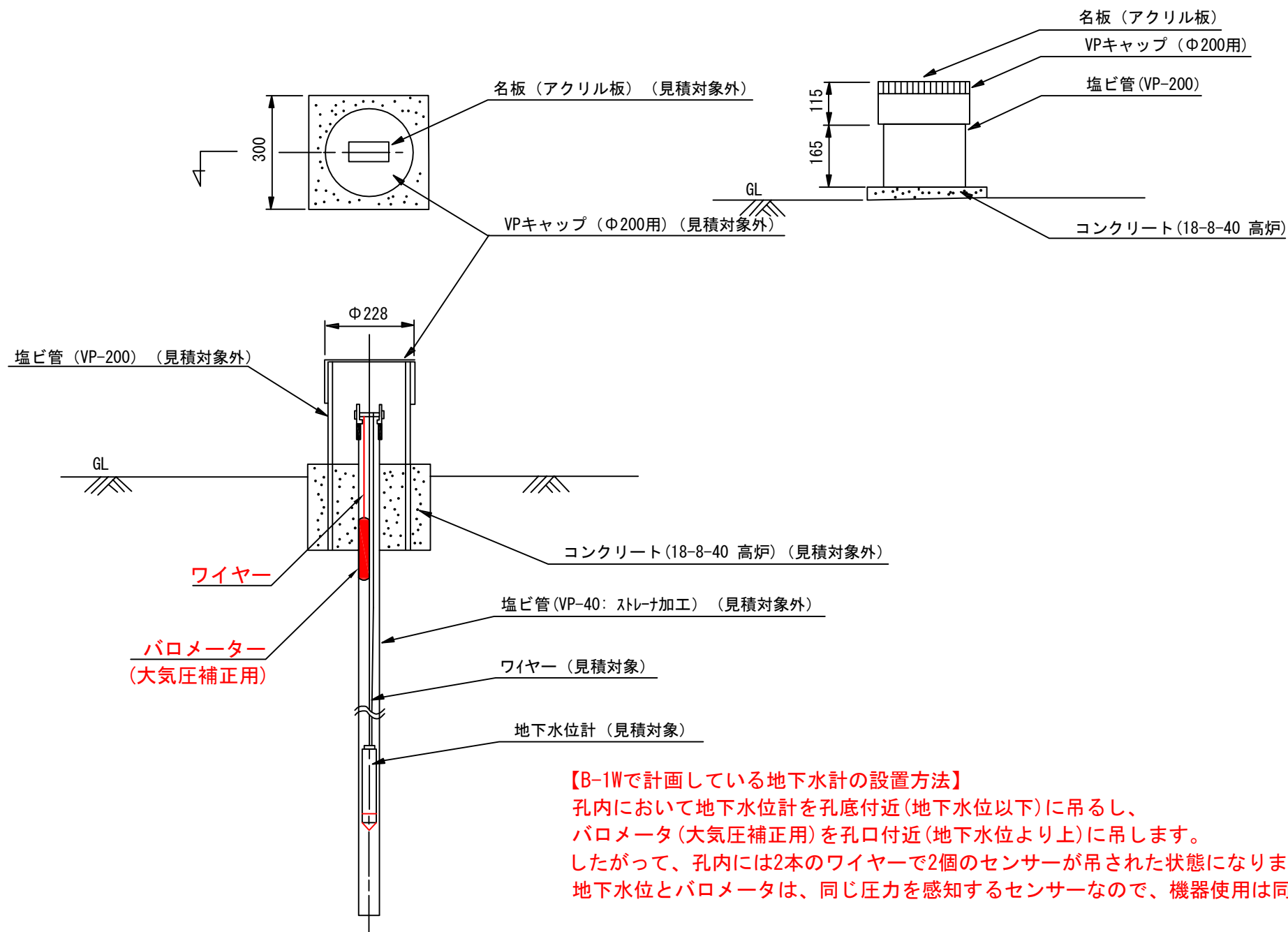
ボーリング調査 位置図

参考図 3

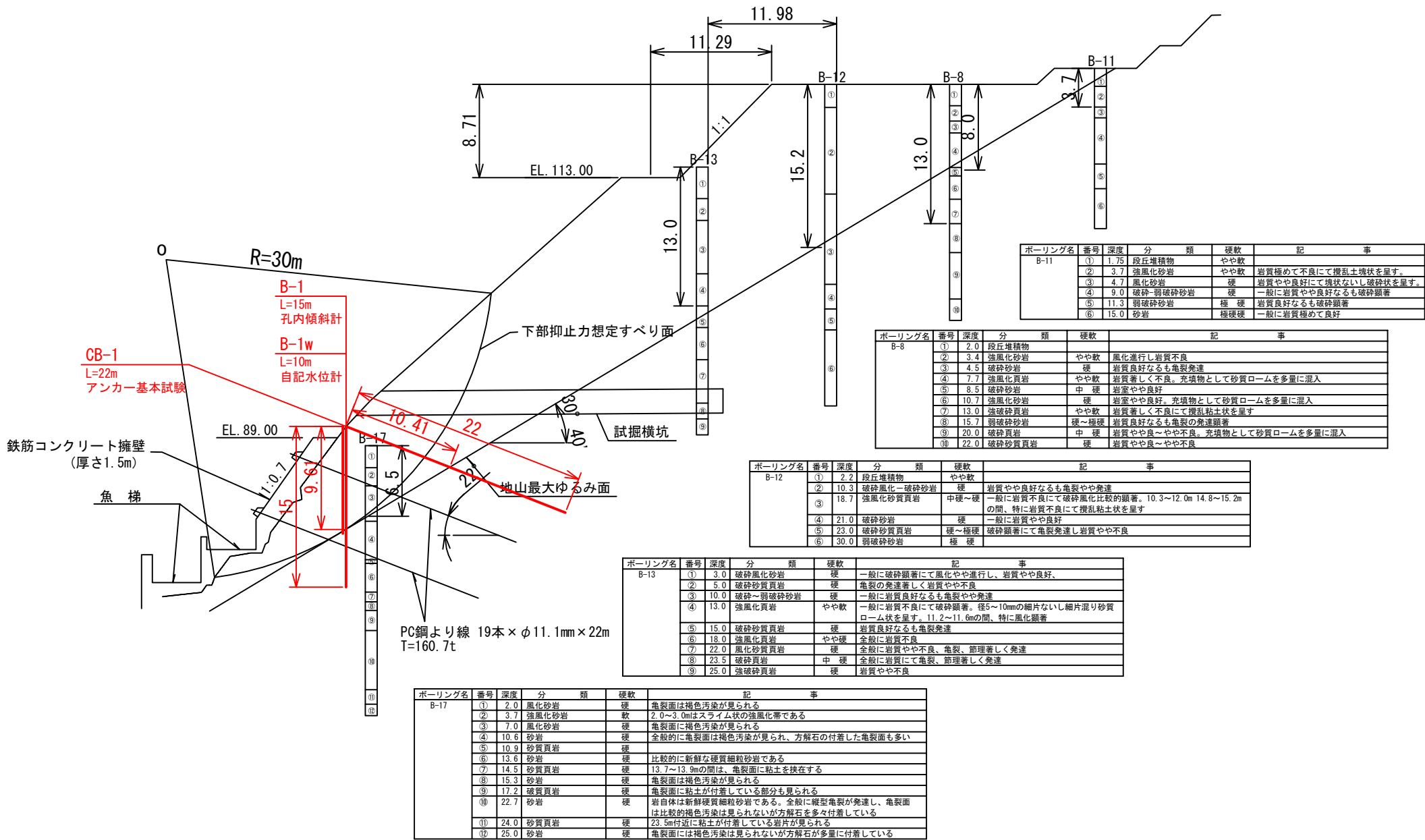


ボーリング調査		調査孔	凡例	備考
ボーリング調査A	調査ボーリング	B-1	●	孔内傾斜計設置
		B-1W	●	水位計設置
	チェックボーリング	CB-1	●	アンカー基本試験
ボーリング調査B	調査ボーリング	B-2	●	孔内傾斜計設置

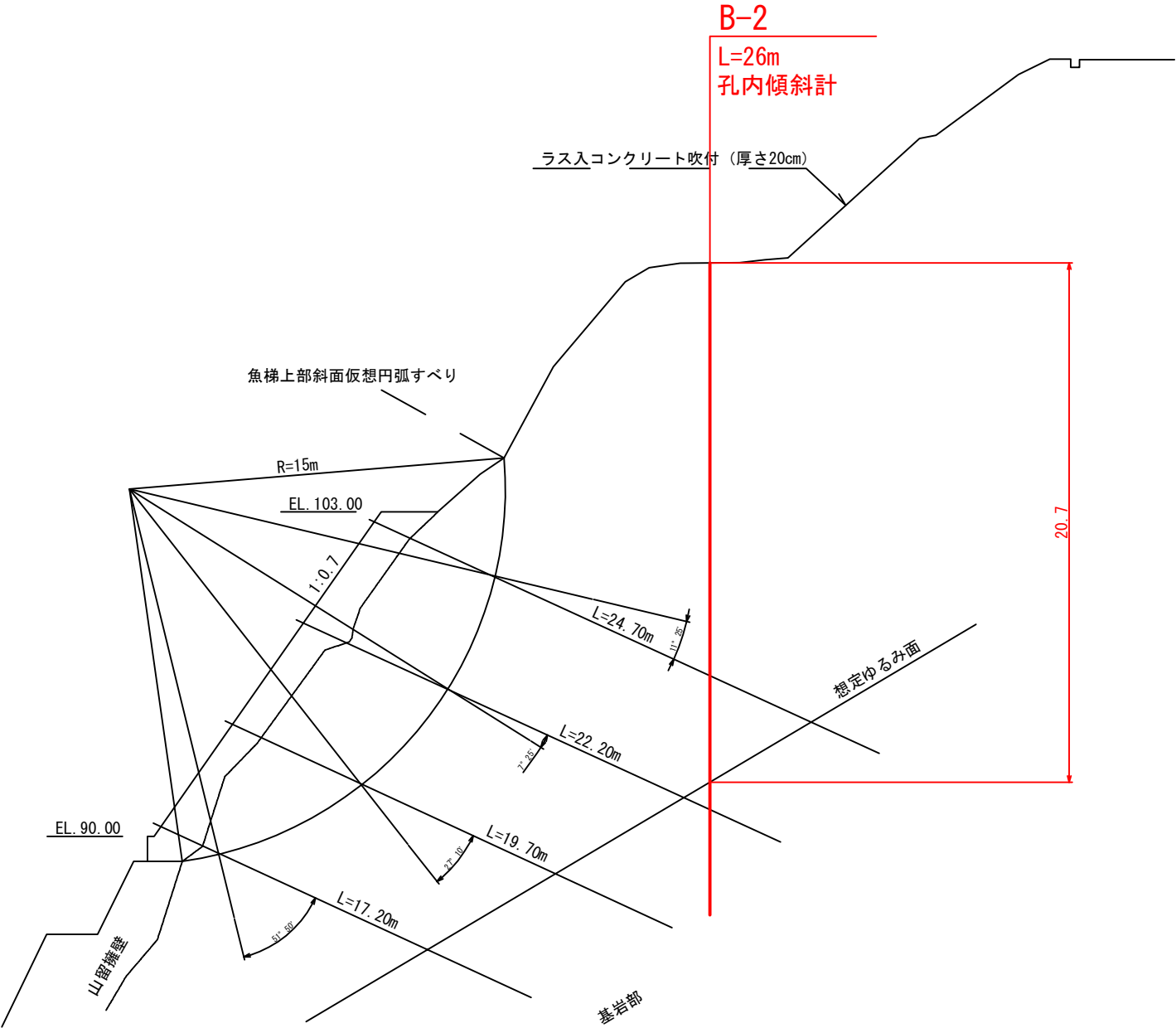
水位計設置図



ボーリング調査 A 調査計画断面図



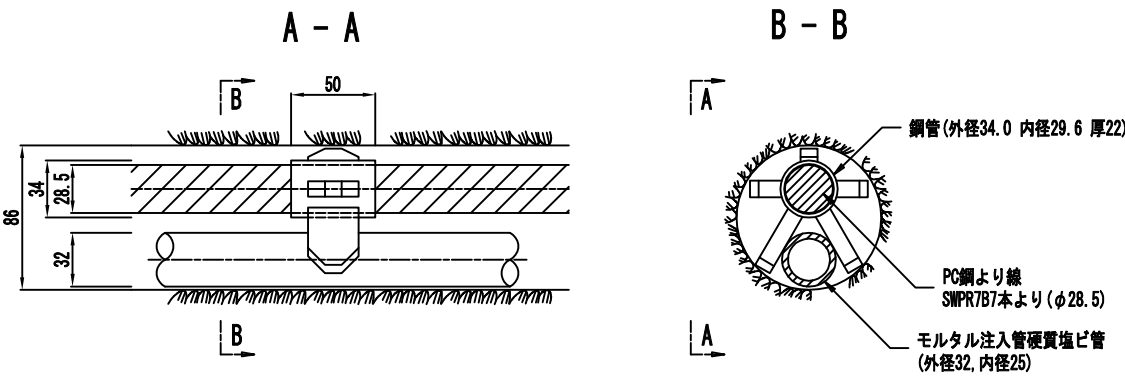
ボーリング調査B 調査計画断面図



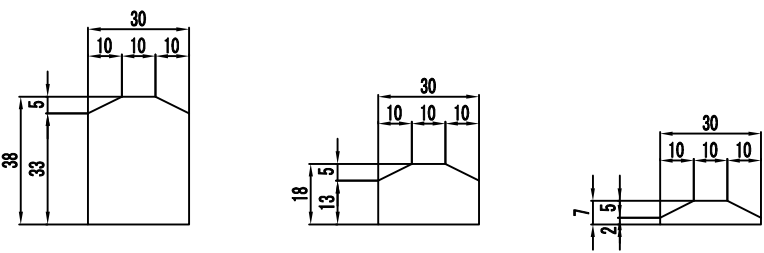
法枠部 アンカー詳細図

参考図 8

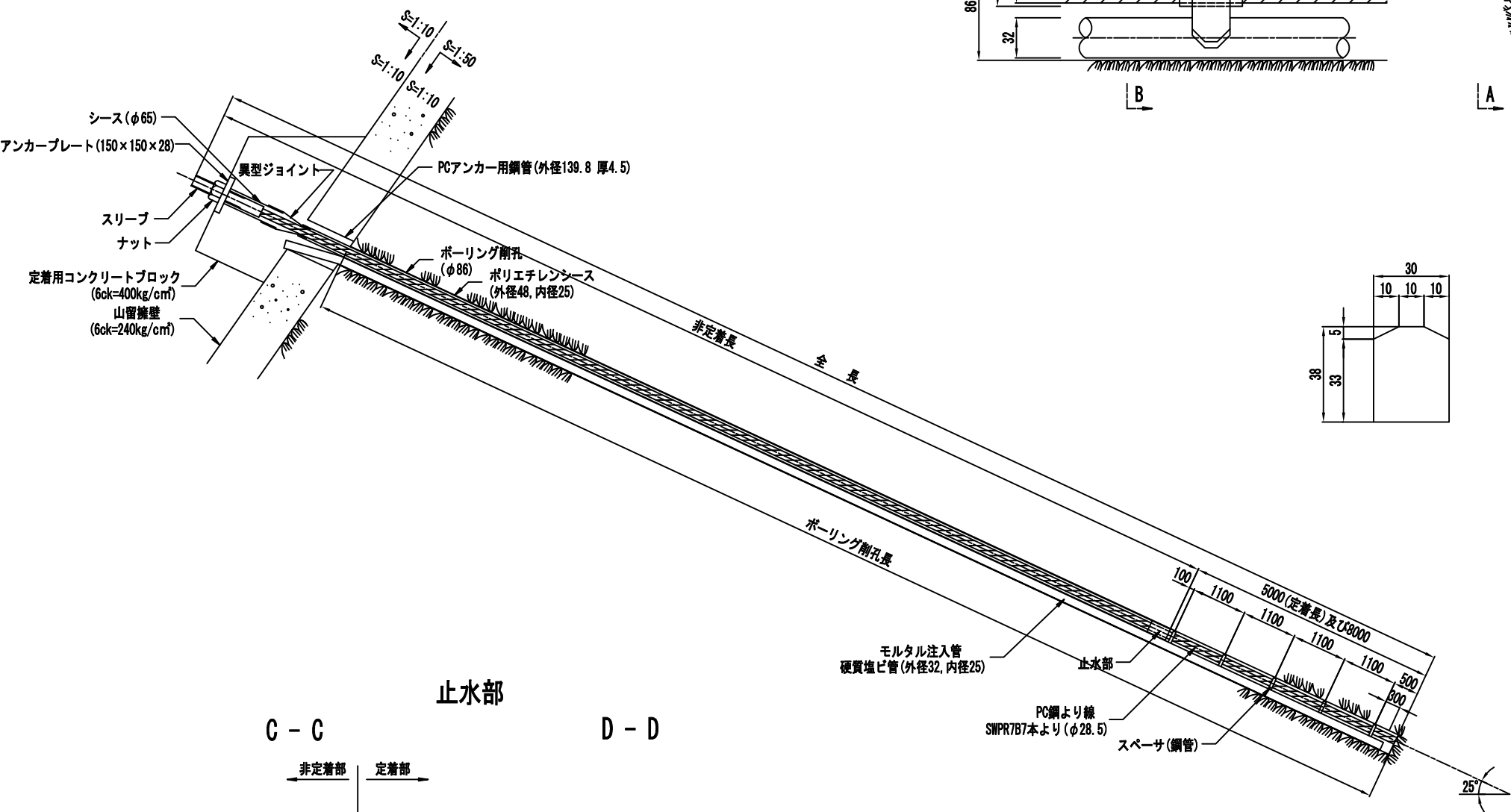
スペーサー詳細図



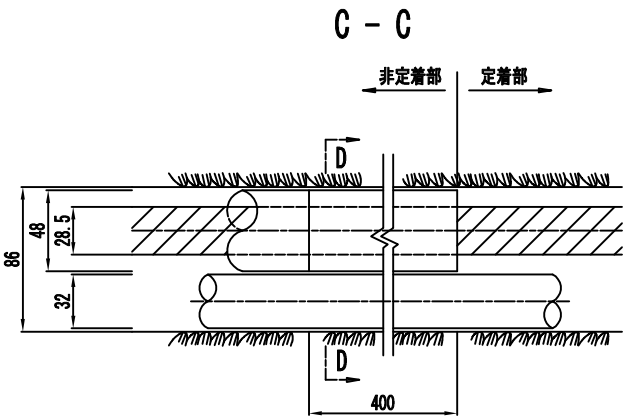
鋼板加工図



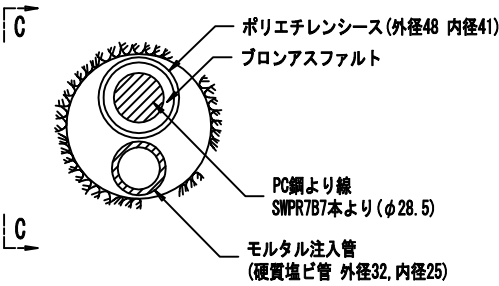
アンカー断面図



止水部



D - D



	全長	非定着長	ボーリング削孔長
最上段	27700	19700	27200
	24200	19700	23700
第二段	22200	17200	20700
第三段	19700	14700	18200
第四段	17200	12200	15700

- 注
1. ポリエチレンシースを裂く。
 2. 中にブロンアスファルトを流し込む。
 3. 外側をブラックテープで巻く。

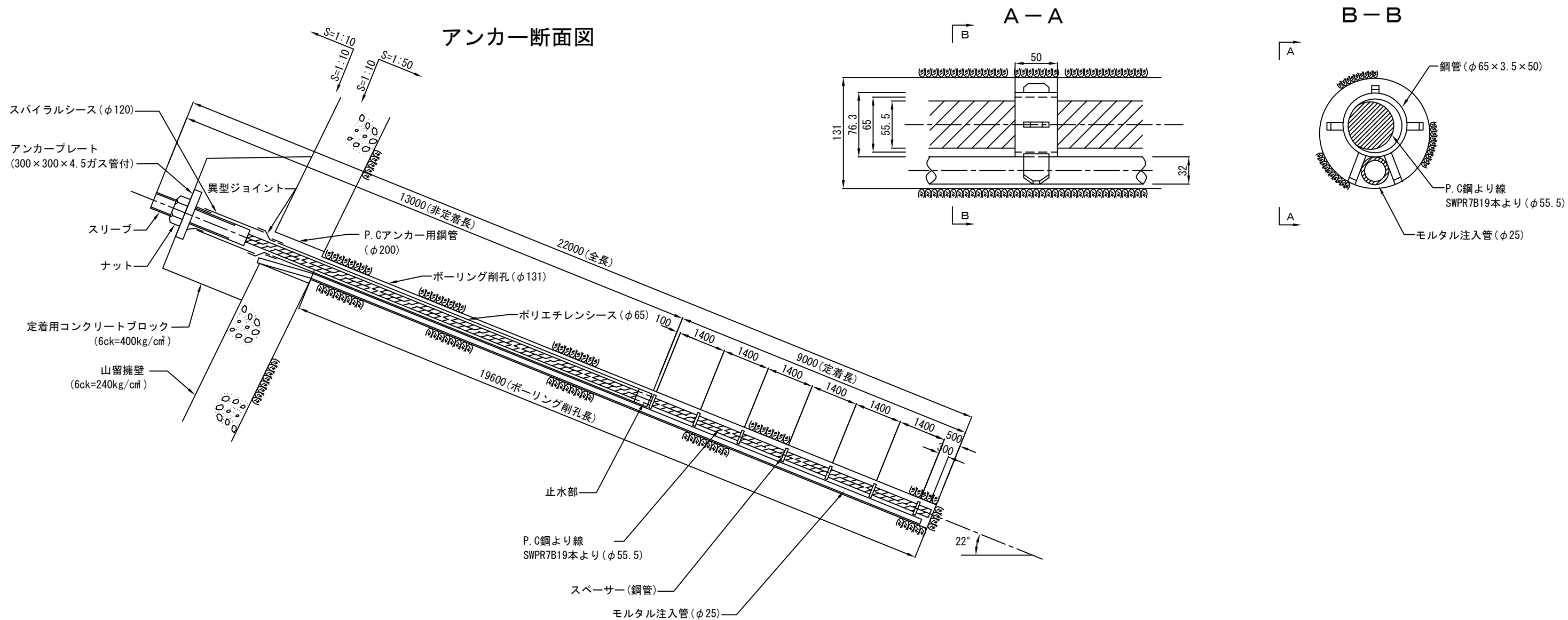
地 じ り 対 策

法枠部アンカー詳細図

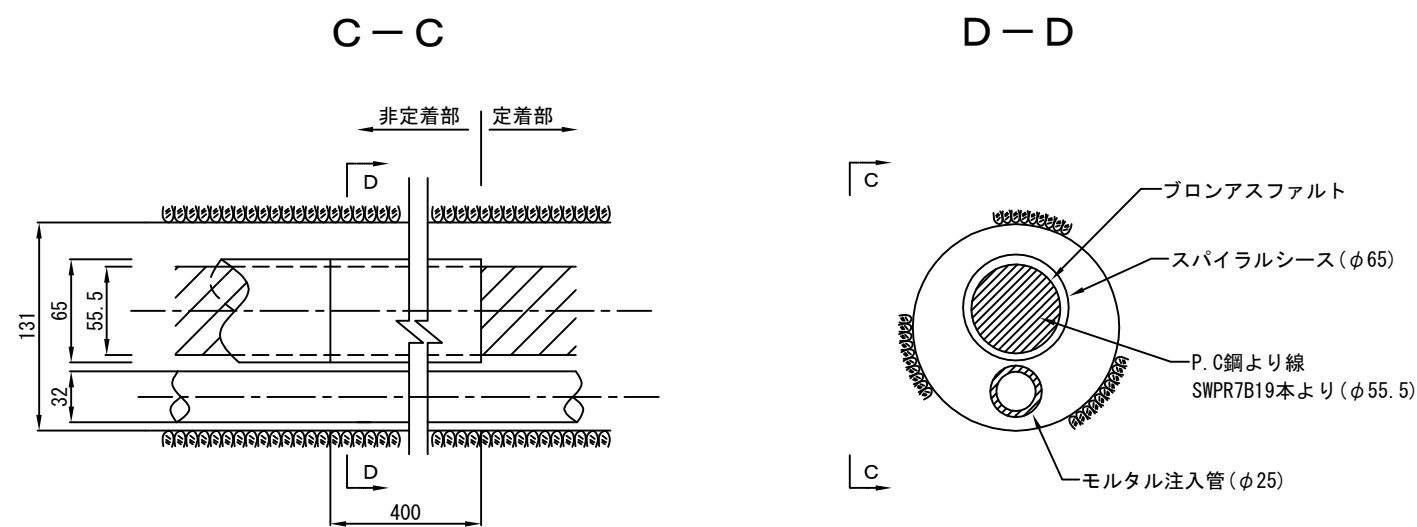
擁壁部 アンカー詳細図

スペーサー詳細図

参考図 9



止水部



- 注
1. ポリエチレンシースを裂く。
 2. 中にブロンアスファルトを流し込む。
 3. 外側をブラックテープで巻く。

地這り対策

擁壁部 アンカー詳細図

見積仕様

第 1 節 業務目的

ダムサイト右岸法面の既設アンカーについて調査ボーリングによる岩盤状況の確認を行うとともに健全性調査による評価・解析を行うものである。

第 2 節 業務内容

2-1 準備作業

受注者は、貸与資料等より、現地調査、健全性の評価、観測計器設置及び観測調査ボーリング等に必要な資料の収集、整理を行うものとする。

貸与資料

観測計器	数量	観測記録	備考
地盤傾斜計観測データ	12 基	1976 年～（2 回/月）	
坑内伸縮計観測データ	12 基	2003 年～2016 年 2019. 8～	2017 年から 2019 年 7 月までは故障のため未計測
変位測量データ	7 カ所	2012 年～（1 回/年）	
クラックマップ		2011 年～（1 回/年）	コンクリート吹付法面
池田ダムサイト右岸地回り解析などの資料	3 冊	昭和 48 年度～昭和 50 年度	業務報告書
池田ダム右岸法面安定性評価等業務（R2）	1 冊		法面の健全性の評価手法の検討
池田ダム右岸法面健全性評価等業務（R4）	1 冊		法面の健全性の評価を行う。
地回り関係図面	1 式		平面図等 11 枚
池田ダム工事誌	1 冊		

2-2 現地調査

ダムサイト右岸法面の既設安定化対策工（アンカー工、排水工）を目視による現況確認するとともに、維持管理計画の検討に必要な既設観測計器の位置及び状況、クラック現況の確認を行い、現地調査結果を報告するものとする。（対象範囲は参考図 1 に示す。）

2-3 健全性調査

健全性調査の対象箇所は 15 箇所（法枠部 3 箇所・擁壁部 12 箇所）とし、参考図 1、参考図 2 のとおりとする。

健全性調査は「グラウンドアンカー維持管理マニュアル（2020 年、土木研究所・日本アンカー協会編）によるものとする。

なお、通路や足場などの安全施設及び調査のための資機材の運搬費は含まないものとする。

2-3-1 頭部詳細調査

ハンマー、電動ピックなどを用いて頭部の目視及び露出調査を行い、調査結果をとりまとめるものとする。

2-3-2 リフトオフ試験

センターホールジャッキ又は特殊ジャッキ等を用いてリフトオフ試験を行う。また、残存引張や変位特性の調査を行い、調査結果をとりまとめるものとする。

2-3-3 頭部背面調査

センターホールジャッキやジャッキチェアーなどの特殊冶具を用いて緊張力を解除し、テンドンの腐食状況、支圧板背面調査等を行い、調査結果をとりまとめるものとする。

2-3-4 分布図作成

2-3-1～2-3-3の結果及び令和4年度に実施した法枠部(2箇所)及び擁壁部(1箇所)の健全性評価の成果をもとに残存緊張力分布図、設計アンカー力比分布図及び健全度判定区分布図を作成する。

2-3-5 分布図による健全性評価

2-3-1～2-3-4の結果をもとに法面挙動の経過観察又はアンカーの更新について評価を行うものとする。

2-4 観測計器設置及び観測

参考図1及び参考図3に示す調査ボーリングの孔内に孔内傾斜計(2箇所)及び水位計(1箇所)を設置し、観測するものとする。

なお、観測計器設置及び観測は見積対象外であるが、報告書作成に係る歩掛については、当該項目を含めた歩掛見積の対象とする。

2-4-1 孔内傾斜計の仕様

1. 孔内傾斜計用ガイドパイプ

材料 アルミニウム (JIS H4100 A6063S-TS)
外径 ガイ`パイ` φ 50.2 ソケットφ 53.5
内径 ガイ`パイ` φ 47.2
表面処理 アルマイト加工

2. 孔内傾斜計

・センサー

測定範囲	±30℃
直線性	0.05%FS
分解能	<10秒
動作温度	0～50℃
車輪間隔	500mm
耐衝撃性	6000G
使用ケーブル	傾斜計ケーブル(160m以内) 測定深度150m

- ・ロガー

電源	単 1 電池×4個 (4V～7V)
消費電流	1A以下
データフォーマット	CSV, pm
防塵防水性	IP43相当
外部記録媒体	SDカード
外部通信I/F	USB型コネクター

2-4-2 水位計の仕様

測定範囲	19m及び大気圧補正用
圧力センサ	±0.1%以内F.S
分解能	0.03%F.S
校正方法	工場出荷時校正
温度補償範囲	0℃～40℃ (但し凍結なきこと)

2-4-3 調査ボーリング

孔内傾斜計及び水位計設置の際行う調査ボーリング（3箇所）については、参考図 6，7 のとおり計画しており、見積対象外であるが、報告書作成に係る歩掛については、当該項目を含めた歩掛見積の対象とする。

2-5 アンカー基本試験

2-3健全性調査による健全性の評価により、アンカーの更新が必要な場合、別途行うチェックボーリング（参考図 3，6）により、アンカー材を用いて引抜载荷試験を行い、グラウンドアンカー工設計に供する定着地盤の設計付着強度や重圧板背面地盤の地耐力を得るものとする。アンカー基本試験の試験方法は、「グラウンドアンカー設計・施工基準同解説 平成24年6月」（公益社団法人地盤工学会）に準じて行うものとする。

なお、アンカー基本試験の事前に行うチェックボーリングは、見積対象外であるが、報告書作成における歩掛かりについては、当該項目を含めた歩掛見積の対象とする。

2-6 地すべり対策の設計

2-3健全性調査により、広範囲でアンカーの機能低下が確認された場合及び2-4観測計器設置及び観測による地すべりが確認された場合にはアンカー工の更新として、新たに地すべり対策の設計を行うものとする。

なお、地すべり対策の設計にあたっては、次の作業毎に積み上げた員数を計上するものとする。

- ・設計計画
- ・設計条件の確認
- ・設計計算
- ・設計図
- ・数量計算
- ・照査

第 3 節 報告書作成

第 2 節業務内容 2-1～2-6 の業務について作成するものとするが、地すべり対策の設計を含まない報告書 A と地すべり対策の設計を含む報告書 B の見積り 2 種類を提出するものとする。

以 上

見積り項目

総括表					
		数量	単価	金額	備考
準備作業	式	1			
現地調査(外業)	式	1			
現地調査(内業)	式	1			
健全性調査	式	1			
頭部詳細調査	式	1			
リフトオフ試験	式	1			
頭部背面調査	式	1			
分布図作成(法枠部)	式	1			
分布図作成(擁壁部)	式	1			
分布図による健全性評価	式	1			
観測計器設置及び観測	式	1			
アンカー基本試験	式	1			
地すべり対策の設計(法枠部)	式	1			
地すべり対策の設計(擁壁部)	式	1			
報告書作成A(地すべり対策の設計あり)	式	1			
報告書作成B(地すべり対策の設計無し)	式	1			

準備作業

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
所用日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

現地調査(現地確認, 外業)

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※2	式				直接人件費の○%
機械損料※2	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

現地調査(結果報告, 内業)

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

見積り項目**健全性調査 頭部詳細調査**

(15箇所当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※ ¹	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※ ²	式				直接人件費の○%
機械損料※ ²	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※¹ 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。※² 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。**健全性調査 リフトオフ試験**

(15箇所当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※ ¹	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※ ²	式				直接人件費の○%
機械損料※ ²	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※¹ 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。※² 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。**健全性調査 頭部背面調査**

(15箇所当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※ ¹	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※ ²	式				直接人件費の○%
機械損料※ ²	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※¹ 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。※² 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

見積り項目**健全性調査 分布図作成(法枠部)**

(法枠部1式当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

健全性調査 分布図作成(擁壁部)

(擁壁部1式当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

観測計器設置及び観測

(1式(3箇所)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
調査ボーリング(孔内傾斜計B-1)	m	15			見積対象外
調査ボーリング(孔内傾斜計B-2)	m	26			見積対象外
調査ボーリング(水位計B-1W)	m	10			見積対象外
観測計器設置	箇所	3			見積対象外
観測	箇所	3			見積対象外
孔内傾斜計	基	2			
〃 付属品	基	2			センサーケーブル等
水位計	基	1			
〃 付属品	基	1			ワイヤー、バロメーター等
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

見積り項目**アンカー基本試験**

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
チェックボーリング	m	22			見積対象外
直接人件費※1	人				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※2	式				直接人件費の○%
機械損料※2	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

地すべり対策の設計(法枠部)

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※2	式				直接人件費の○%
機械損料※2	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

地すべり対策の設計(擁壁部)

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費※2	式				直接人件費の○%
機械損料※2	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

見積り項目**報告書作成A(地すべり対策の設計あり)**

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

報告書作成B(地すべり対策の設計無し)

(1式(1業務)当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数も記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。